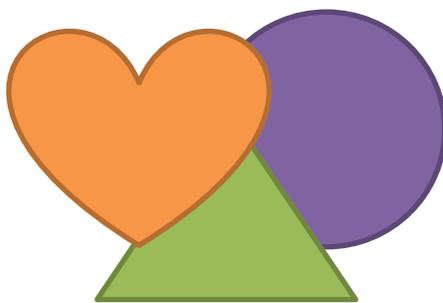


最前面、前面、背面、最背面への移動の仕方

Word や Excel で図形や写真などを挿入していて、難題になってくるのが図同士の重なり関係です。操作に悩まれる方もおられますので、下記を読んで少しでも使い方をご理解いただければと思います。基本的に Word2013、Excel 2013 を元に記載していますが、この操作の基本的な意味合いは、どのバージョンでも同様です。

- 複数の図を上から見たときの位置関係

下記のように3つの図が重なっていた時、その前後関係（重なり関係）は下記右図のようになっています。



3つの図形の重なり様



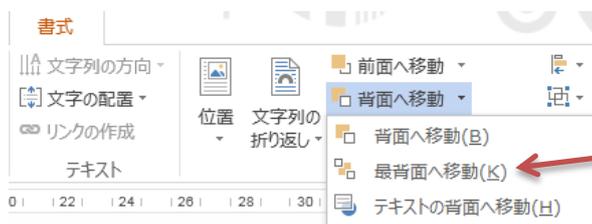
左図の
見ている
方向



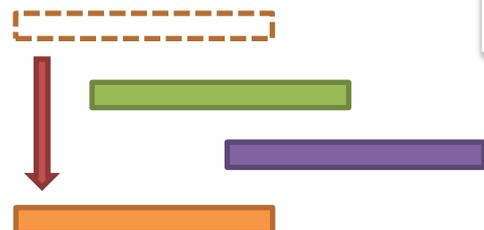
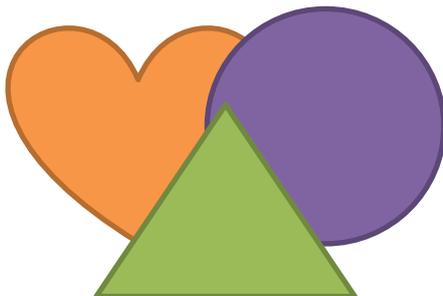
横から見た場合

- 一番上の図形に対して「最背面への移動」を押す

ハートを最背面にすると、図形の重なり順が一番後ろ（最も背面）に移動します。

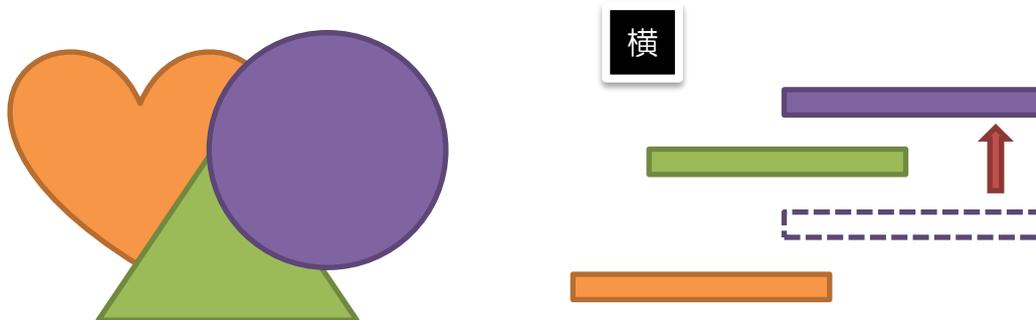


ハートを選んでからクリック



横

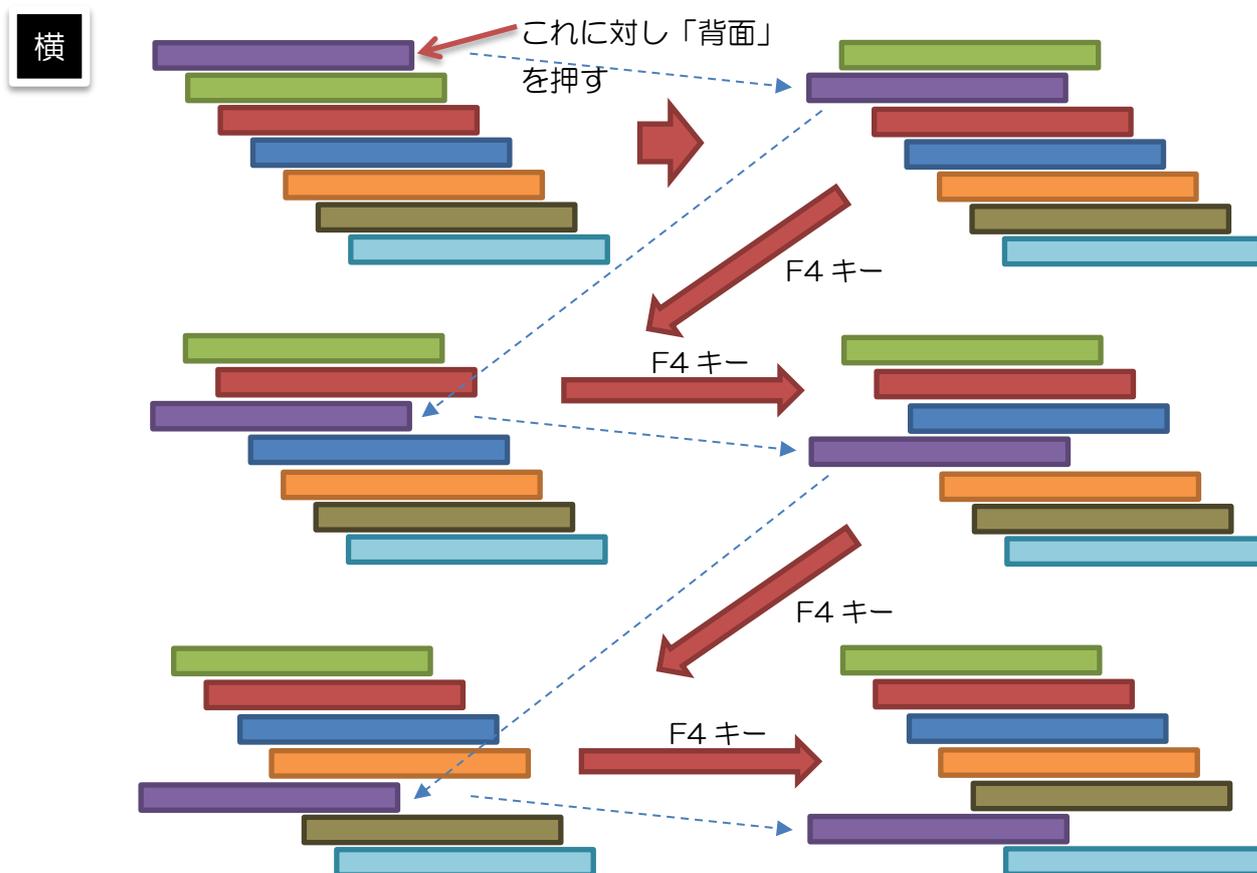
- 真ん中の図形に対して、「最前面へ移動」を押す
○を最前面にすると、図形の重なり順が一番前（最も前面）に移動します。



- 「前面」「背面」を使う
この操作を使うと、一つだけ移動させることができます。つまり、図形を選択して「背面」を1回押すと、その図形よりも一つ背面の図形と順序が入れ替わります。また、「背面」を1回押すとさらに一つ背面になります。

実際には、何度も「背面」を押すのは面倒なので、一度「背面」を押した後、その後は「F4」キーを押すことで押した回数分だけ背面に行きます。

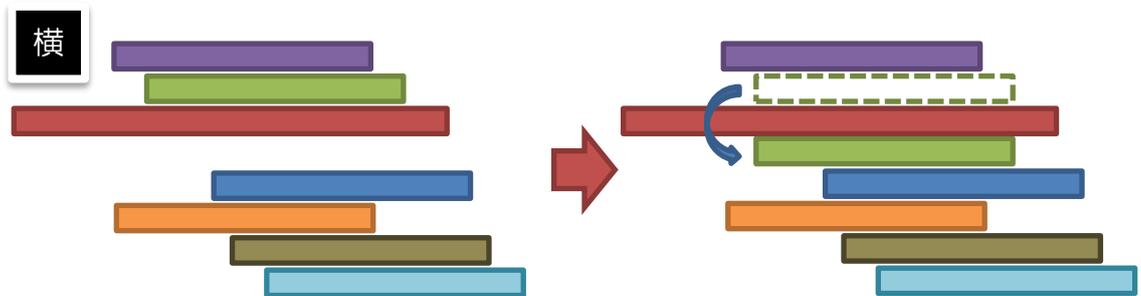
※「F4」キーは「直前の操作を繰り返す」という機能があります。



- 「前面」「背面」を押すときの注意点

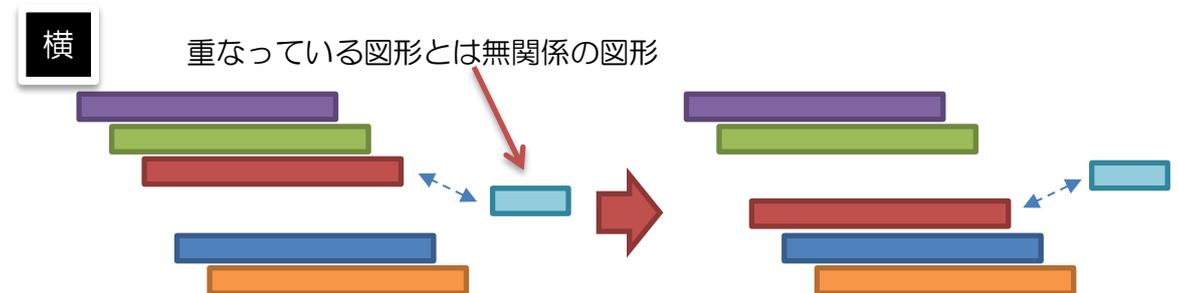
「前面」「背面」は実は、結構使い方が簡単ではない操作です。その理由を下記に説明します。

- ① 多数の図形が複雑に重ね合わされている場合、「背面」を押していくとよくわからない位置になってしまい、図形の重なり方を見失ってしまうことがある。



下の図形に隠れてしまって重なり位置がわからなくなる！

- ② ファイル内で無関係の位置に存在する図形に対しても「重なり順」が適用されている。そのため、「背面」を押しても、何も状態が変わらなくて混乱する時がある。



赤色の図形が一つ背面に移っても（水色図形の下に行く）、重なり関係が変わらない！

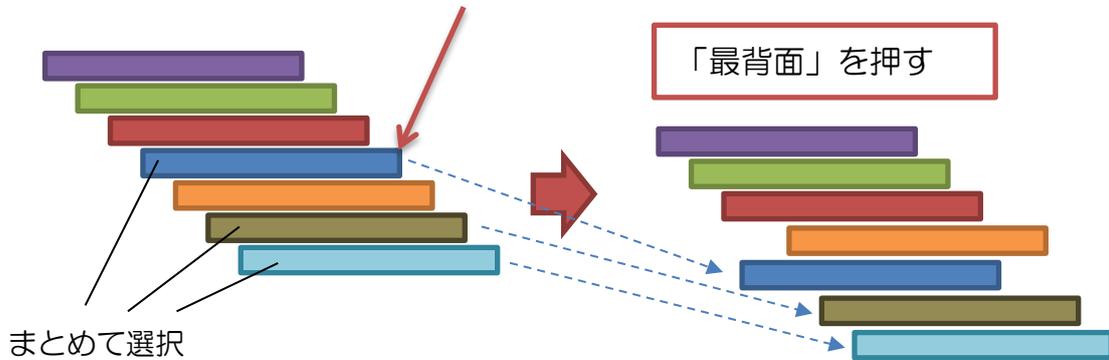
- 上記の注意点に対する対処方法

上記の注意点に対しては、「前面」「背面」の操作を使わず、「最前面」「最背面」の操作のみを使うというのが最も有効です。「前面」「背面」は非常に細かい図形がたくさん重なっている時には効果的ですが、それ以外には極力使わないほうが良いです（各人の操作しやすさはそれぞれですので、「前面」「背面」のほうが使いやすければそれでも構いません）。

例1

横

これを一つ下（背面）にもっていきたい場合

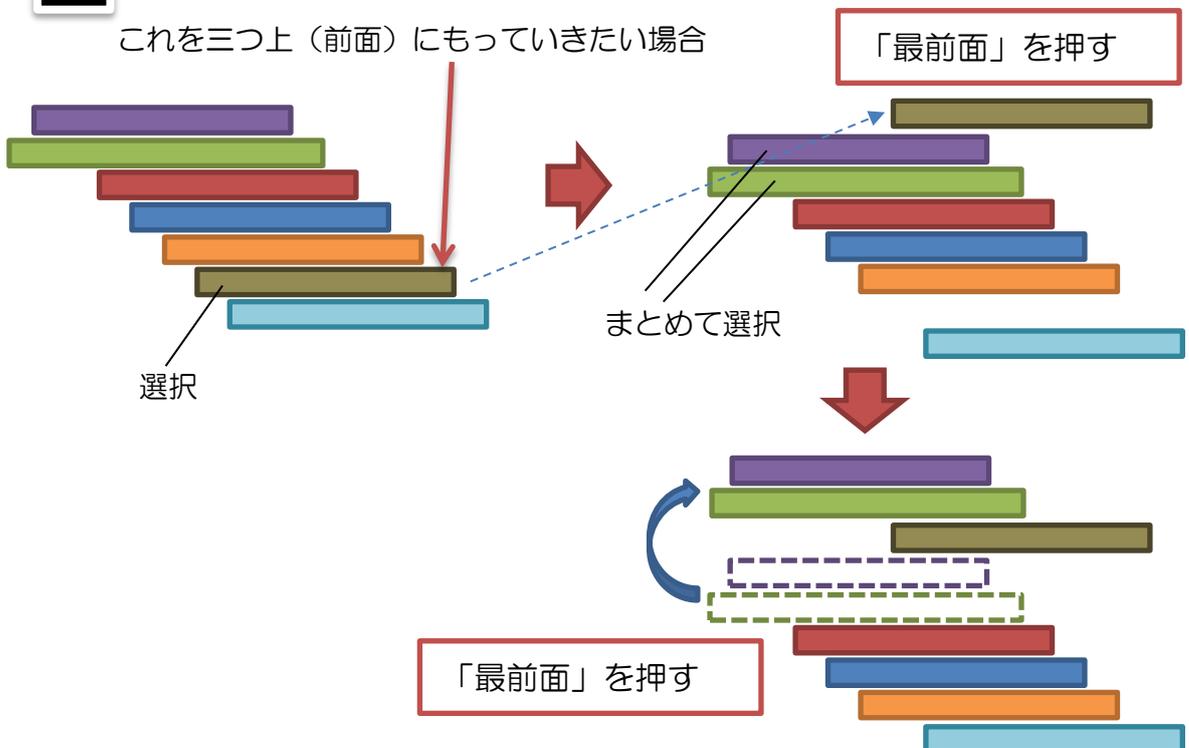


3つをまとめて選択して、「最背面」にもっていけば、結果として一つ下にいくことになる（まとめた図形群の中での階層は維持される）。

例2

横

これを三つ上（前面）にもっていきたい場合



まず、本命の図形を「最前面」にした後、さらに前にくるべき図形を改めて「最前面」に移動させる。